

事務事業名		塩谷町航空写真撮影及び地番図デジタル化事業				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	0:5: 効率的な行財政運営によるまちづくり				所属課	税務課	担当	課税担当
	施策名	0:3: 健全な財政運営の推進				課長名	斎藤 善輝	担当者名	田代 好弘
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等	
		1	0:2	0:2	0:1	0:0:3	固定資産税費		
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度		年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 (H26 年度~ H27 年度)		
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 現在税務課で課税根拠としている航空写真は、H4年度に撮影したものでその後の圃場整備やバイパスの開通等により、土地の区画形状や家屋の位置が現状とは相違があるため、事務に支障をきたしているため航空写真の更新を行い、併せて地番図のデジタル化と家屋外形データの図化を行い、最終的には地番図と航空写真の重ね図上で土地及び家屋を検索可能なシステムを構築し、適正かつ公正な評価事務を確立したい。 圃場整備、国県道バイパスや拡幅工事も完了し、今後大規模な土地の移動はないと思われるのでH26年度から事業に着手したい。</p> <p>2 概算事業費(※ランニングコストが掛かる事業については、概算で算定し記入すること) H26年度 航空写真撮影及びデジタルオルソ作成業務 12,420千円 地番図閲覧システム購入 1,263千円(買取り) H27年度 地番図デジタル化及び地番図、航空写真オルソデータ重ね図作成 19,980千円 ※消費税は8%で積算</p>							

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等) 塩谷町全域航空写真撮影データによる地番図デジタル化及び家屋外形の図化		名称	単位
		ア 航空写真枚数	枚
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載) システムで管理される土地と家屋		名称	単位
		ア 土地	筆
		イ 家屋	棟
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのかを記載) 適正かつ公正な評価事務を確立する		名称	単位
		ア 評価に対する税額更正件数	件

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 枚		353	353	353	353	353
	イ	実績値 枚						
対象指標	ア	目標値 筆	52,000	52,000	52,000	52,000	52,000	52,000
	イ	実績値 棟	11,454	11,454	11,454	11,454	11,454	11,454
成果指標	ア	目標値 件	5	5	4	3	2	1
	イ	実績値 件						

計画		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
事業費 投入費	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円		13,683	19,980		
	事業費計(A)	千円	0	13,683	19,980	0	0
人件費	正規職員従事人数	人		2	2		
	延べ業務時間	時間		35	56		
	人件費計(B)	千円	0	140	224	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	13,823	20,204	0	0

実績		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
事業費 投入費	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人					
	延べ業務時間	時間					
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	航空写真は土地・家屋課税根拠の一部であり、適切かつ公正な課税を行なううえで行政の資料として必要なものなので適切と考える。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	現在の航空写真はH4年度に撮影されたもので、圃場整備やバイパスの開通等により、土地の区画形状や家屋の位置が現状とは異なり事務に支障をきたしている。今後大規模な土地の移動はないと思われるのでH26年度から事業に着手したい。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	航空写真撮影は国土交通省積算基準、その他の業務は地図デジタル化の実績のある業者の見積りを参考とした。システムを構築することにより地番図検索が容易になり、窓口対応に要する時間が短縮され、地番図修正もシステムで可能となる。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	受益を得るのは税務行政であり、住民に直接的な受益はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 25 年 10 月 1 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等) ・近隣市町では、3年に1度更新している状況 ・デジタル化により事務効率が向上する

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 一 年 一 月 一 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業